

令和6年（令和7年度入学者選抜）

第2回 進路説明会資料

令和6年11月8日(金)

大阪市立美津島中学校

本日の内容

1. 入試結果
2. 主な変更点
3. 工業系高校とエンパワーメントスクール
4. 入試の配点等
5. 学力検査問題の種類と倍率のタイプ
6. 入試の合否にかかわるもの
7. 合否判定のプロセス
8. オンライン出願の流れ
9. その他

第2回 進路説明会

～ 公立高校の入試について ～

大阪市立美津島中学校
令和6年11月8日(金)

本日の内容

～ 公立高校の入試について ～

1. 入試結果
2. 高校の主な変更点
3. 工業系高校とエンパワーメントスクール
4. 入試の配点等
5. 学力検査問題の種類と倍率のタイプ
6. 入試の合否にかかわるもの
7. 合否判定のプロセス
8. オンライン出願の流れ
9. その他

入試結果

● 私立の進学者は増加傾向

- 授業料無償化制度
- 特待生ねらい(入学金など免除)
- 指定校推薦など大学進学を見越して

R6進学生徒の公立と私立の比率

学校種別	比率
私立	33
公立	67

入試結果

公立高校学科別割合

学科	割合
1 普通科	57
2 工業科	18
3 商業科	4
4 総合学科	9
5 文理学科	2
6 専門学科	2
7 定時制	2
8 その他	5

入試結果

私立高校種別割合

種別	割合
1 男子校	4
2 女子校	18
3 共学校	52
4 通信制・単位制	25

主な変更点

1. 再編整備
 - ① 西野田工科高校 → 今宮工科高校と機能統合
 - ② 布施工科・城東工科 → 城東工科の校地に新校が開校
 - ③ 生野工業 → 東淀工業の校地へ
(R7(2025)年度募集停止)
 - ④ 泉尾工業 → 東淀工業の校地へ
(R10(2028)年度募集停止 → 新校募集開始
※東淀工業も同じ年度に募集停止)

工業系高校とエンパワーメントスクール、ステップスクール

- 日程
 - 特別入学者選抜(2月)⇒エンパワーメントスクール
 - 一般入学者選抜(3月)⇒工業系高校
- 工業系高校の特色
 - ・工業系の資格が多く取れる
 - ・就職は、ほぼ100%
 - ・大学進学へのカリキュラムを持つ高校もある
- エンパワーメントスクールの特色
 - ・国数英のモジュール授業(30分基礎基本)で学びなおし
 - ・キャリア教育の充実
- ステップスクールの開設
 - ・義務教育でつまづきを経験した生徒に寄り添う指導
 - エンパワーメントスクールからの改編→西成、岬の2校

資料1①②

入試の配点等

◆学力検査+調査書で総合点を出す
一般入学者選抜 全日制の課程の例(最も受験者が多い)

学力検査 450点 国語 社会 数学 理科 英語 各90点	+	調査書 450点 9教科 の評価 各50点	=	総合点 900点 I 学力検査×1.4 +調査書×0.6 II 学力検査×1.2 +調査書×0.8 III 学力検査×1.0 +調査書×1.0 IV 学力検査×0.8 +調査書×1.2 V 学力検査×0.6 +調査書×1.4
---	---	--	---	--

学力検査と調査書の比率は
 Iの場合 7:3
 IIの場合 6:4
 IIIの場合 5:5
 IVの場合 4:6
 Vの場合 3:7

学力検査問題の種類と倍率のタイプ

◆学力検査問題の種類

	国語・数学・英語	社会・理科
特別選抜	基礎的問題(A) 標準的問題(B)	共通
一般選抜	基礎的問題(A) 標準的問題(B) 発展的問題(C)	共通

※難易度 (A) < (B) < (C)
 ※英語リスニングテストは発展的問題(C)のみ違う問題となります

資料2①~③

入試の合否にかかわるもの

◆アドミッションポリシー
各高校の「求める生徒像」
「期待する生徒の姿」のこと!

学校名	アドミッションポリシー				アドミッションポリシー		
	1	2	3	4	1	2	3
北千里	本校は自らの個性・能力を磨き、激動する社会の変化に対応できる活かされる人材を育成することを目標としています。未来予測の難しい時代に生きる皆さんにとって、幅広く自らの可能性を追求する姿勢が大切になります。本校の特色を理解し、自らを高めるために努力を惜しまない生徒、新しい価値観を生み出す創造性にあふれた生徒を求めます。				○	○	○
北千里	1) 学業に真摯に取り組む成果を上げてきた種別を有し、入学後も努力を惜しまず自らの可能性を高めようとする生徒	2) 学校行事や部活動、自主的な活動(ボランティア活動など)を軸として成長できた経験があり、高校生活においてリーダーシップを発揮しようとする姿勢にあふれた生徒	3) 困難理解に意欲を持ち、世界的な課題の解決に向けて行動しようとする意欲のある生徒	4) 英語によるコミュニケーション力の向上のために積極的に国際交流に参画し、資格取得をめざすなど自らを高める姿勢を有する生徒	○	○	○

入試の合否にかかわるもの

◆自己申告書 **生徒が作成する**

<テーマ(令和7年度入試)>

あなたは、中学校等の生活(あるいはこれまでの人生)でどんな経験をし、何を学びましたか。また、それを高等学校でどのように生かしたいと思いませんか。できるだけ具体的に記述してください。

ポイント → **アドミッションポリシーにどれだけ合致するか**

入試の合否にかかわるもの

◆調査書 **学校が作成する**

「活動/行動の記録」

中学校での教育活動全般における活動及び行動の記録が、具体的事実を示して記載されます。(部活動、委員会活動、生徒会活動、その他)

ポイント → **アドミッションポリシーにどれだけ合致するか**

入試の合否にかかわるもの

(1) 学力検査・実技検査等 → (入試の得点)
+
総合点

(2) 調査書
・「各教科の学習の記録」→ (5段階評定)

・「活動/行動の記録」
アドミッションポリシー

(3) 自己申告書

入試の合否にかかわるもの

◆英語資格(外部検定)の活用

	TOEFL iBT	IELTS	英検	読み替え 得点率
大阪府 公立高 校入学 者選抜	60点~ 120点	6.0~9.0	準1級	100%
	50点~ 59点	5.5	(対応無し)	90%
教科 英語	40点~ 49点	5.0	2級	80%

※基礎的問題~発展的問題のすべての検査問題を対象とする。

合否判定のプロセス

◆全日制の多くの学科 資料3①②

一般選抜の普通科、専門学科、総合学科、特別選抜の体育、美術、演劇、音楽など

<Step 1> 総合点の算出

<Step 2> 総合点の高い者の順に募集人員の110%に相当する者を(Ⅰ)群とします。

<Step 3> (Ⅰ)群の中で総合点の高い者から募集人員の90%に相当する者を合格とします。

(Ⅰ)群の中で合格が決まっていない者を(Ⅱ)群(ボーダーゾーン)と呼びます。

<Step 4> ボーダーゾーンの中から、自己申告書、調査書の「活動/行動の記録」の記載内容がその高校のアドミッションポリシーに履めて合致する者を優先的に合格とします。

<Step 5> <Step 4>による合格者を除き、改めて総合点の高い者から順に合格者を決定します。

合否判定のプロセス

◆面接を実施する高校 資料3③

特別選抜のエンパワメントスクール、多部制単位制など

<Step 1> 学力検査の成績が、府教育委員会が定める基準に達した者の中から、A=面接、B=自己申告書、C=調査書の「活動/行動の記録」を資料として、「学校のアドミッションポリシー(求める生徒像)」に最も適合する者から順に合格とする。その際の評価の比率は、A:B:C=2:1:1

<Step 2> 募集人員の50%を上限として合格者を決定

<Step 3> 第一手順による合格者を除き、総合点の高い者から順に、募集人員を満たすまで合格とする。

その他

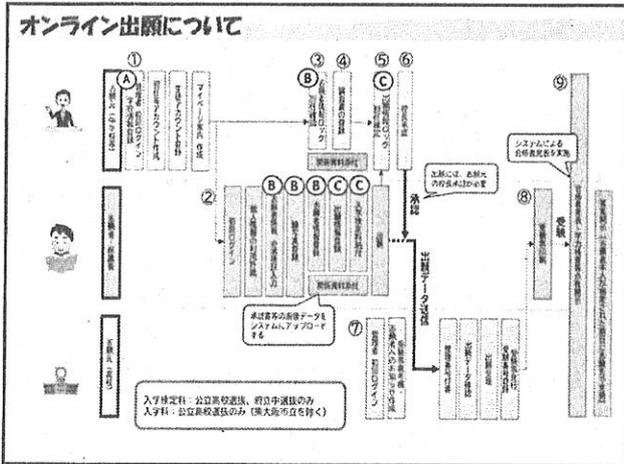
◆追検査

- ・特別選抜、一般選抜その他の志願者
- ・入試当日に出席停止になる感染症に罹患し、すべての検査が未受験のもの
- ・申出は、一般選抜入試の翌週、(3月13日(木) 13:00~17:00)
- ・申出、検査は高校ではなく、指定された場所で
- ・追検査申出書を作成し提出する必要がある
- ・国・数・英(リスニングなし)の3教科 (3月18日)
- A問題、B問題→「基礎的・標準的問題」
- C問題→「発展的問題」

その他

◆学費 ①入学検定料②入学科③授業料④学校諸経費

- ・全日制
①2,200円 ②5,650円 ③118,800円 ④学校ごと
- ・定時制
①950円 ②2,100円 ③32,400円 ④学校ごと
- ・通信制
①800円 ②500円 ③330円/単位 ④学校ごと
- ・私立との比較(概算)
①20,000円 ②200,000円 ③600,000円 ④学校ごと
※③は授業料無償化制度の対象。



オンライン出願について

●大阪府HPより
 教育・文化・観光>学校教育>公立高等学校>
 公立高校の概要・入試>公立高等学校入学者選抜>
 オンライン出願システム

詳細なマニュアル・説明動画が掲載

12月中に問い合わせの窓口も開設

その他

◎公立高校入試の詳細は大阪府のホームページをご覧ください。
 ⇒『公立高等学校入学者選抜』で検索
 ※高校入試に関する資料などがダウンロードできます。

◎大阪府公立高等学校・支援学校検索ナビ(咲くなび)
 ⇒『咲くなび』で検索
 ※高校の住所・連絡先・アドミッションポリシー・その他の情報がすぐわかります。

ご清聴ありがとうございました

エンパワメントスクール各校の状況について 高校再編整備課 令和5年5月

エンパワメントスクールとは

自分の理解度に応じて基礎・基本から専門的な内容まで、「わかる喜び」を感じながら学べ、グループワーク形式や体験型の授業で、社会で役立つ学習ができる高校！

勉強が苦手、卒業後の進路が不安と感じていた人も、自らの力を最大限に発揮できるようになり、98%^(※1)という高い進路決定率を実現！

(※1) 3年次末生徒アンケートにより、卒業後の進路を、大学・短大・専修学校等への進学または就労と回答した割合

生徒の高い満足感！

エンパワメントスクールに入学した77%以上の生徒が、学校生活が楽しいと感じている！

(R4年度学校教育自己診断結果より)

エンパワメントスクール学校生活満足度 (%)



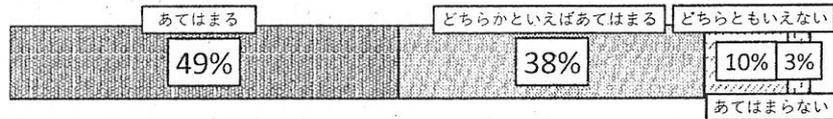
エンパワメントスクールならではの取り組み！

- 1年次に、国数英で30分授業を毎日実施
- 国数英で習熟度別授業を実施
- 「正解が一つでない課題」について考える授業

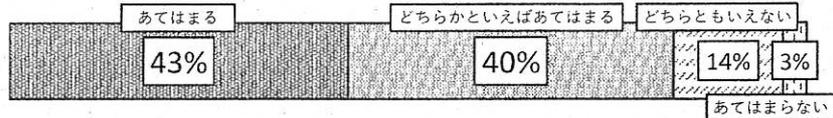
エンパワメントスクールの生徒が評価！

◆ 高校生活を振り返ってみてどうでしたか？

授業がわかりやすかった
[87%]

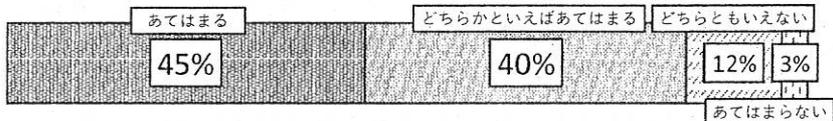


エンパワメントタイム^(※2)の授業は自分のためになった
[83%]



➡ 多くの生徒が授業に対して、前向きに取り組むことができた！

進路を考えるために役立つことをたくさん学べた。
[85%]



➡ 生徒はエンパワメントタイムの授業などを通して、職業への知識や、将来の生活設計などを考える力が身についたと実感！

「エンパワメントスクールを選んでよかった」という項目において、81%が肯定的に回答！

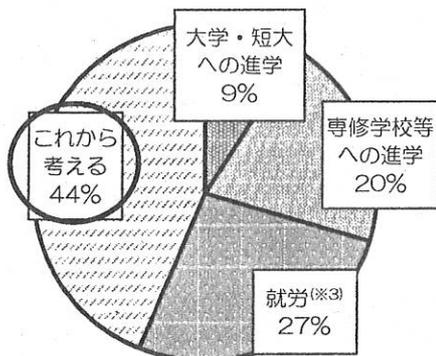
(R4年度3年次末アンケート結果より)

(※2) 「正解が1つでない課題」について、グループ学習や参加体験型学習形式の授業の中で、生徒が自分の考えを述べ、他人の意見を聞いて、思考力・表現力を養成する授業。コミュニケーションやチームワークの大切さを学ぶとともに、自分を理解し、職業や将来の生活設計をイメージして、進路決定にもつながる授業。

**充実した
キャリア教育！**

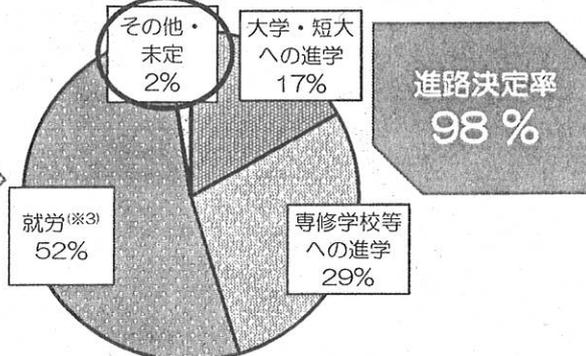
入学時、44%の生徒が卒業後の進路について明確でなかったが、エンパワメントスクールで進路について学び・考えることで、**高い進路決定率を実現！**

◆高校卒業後に進みたいと思っている進路先



(R2年度入学時アンケート結果より)

◆卒業後の進路は何ですか？



(R4年度3年次末アンケート結果より)

(※3) 就労：自営業主等及び常用労働者（無期雇用労働者、有期雇用労働者）、臨時労働者

**専門家による
サポート体制！**

キャリア教育コーディネーター（CC）、スクールカウンセラー（SC）、スクールソーシャルワーカー（SSW）など様々な専門家と連携し、学校生活や進路実現をサポート！

■ 専門家のサポートを受けて

「就職や進学に向けてがんばることができた」という項目において**87%**が肯定的な回答

生徒の自信や安心につながっている！

◆ サポートを受けて良かった点は？

「悩みを相談して、心が軽くなった」「自分のことを知ることができた」

「より細かな指摘をしていただき、弱点を見つけやすかった」

(R4年度2年次アンケート、R4年度3年次末アンケート結果より)

**遅刻、欠席が
大幅に減少！**

生徒は学校生活に前向きな気持ちになり、社会で頑張る力を身につけることで**遅刻・欠席が大幅に減少！**

■ 遅刻件数

5461

改編前

2788

R4

およそ
半数に！

■ 欠席件数

6458

改編前

3869

R4

およそ
40%減少！

(1年次について、改編前とR4年度の各校平均を比較)



「礼儀やマナー、敬語などが身についたと思う」という項目においても**79%**が肯定的な回答をするなど、エンパワメントスクールの生徒は学校生活を通して、**社会性が身についたと実感！**

(R4年度3年次末アンケート結果より)

令和7年度大阪府公立高等学校入学者選抜における学力検査問題等について

学力検査及び実技検査等の問題は、大阪府教育委員会（以下「府教育委員会」という。）が作成する。
 学力検査の問題は、中学校卒業までに習得される基礎的な学力を評価することを主眼として、国語、社会、数学、理科、英語について作成する。

- 1 国語、数学、英語の学力検査問題について、特別入学者選抜（以下「特別選抜」という。）においては2種類、一般入学者選抜（以下「一般選抜」という。）においては3種類をそれぞれ作成する。各高等学校は、使用する問題を課程別に選択して高等学校を設置する教育委員会に申請し、同教育委員会はこの申請を踏まえて決定し、事前に公表する。

問題の種類、特徴、検査時間及び配点については、次のとおりとする。

〔国 語〕

種類	特 徴	特別選抜		一般選抜	
		検査時間	配 点	検査時間	配 点
A (基礎的問題)	基礎的な内容の文章を正確に理解する力を問う問題や、国語に関する基礎的な知識を問う問題を中心に出题する。	40分	45点	50分	90点
B (標準的問題)	基礎的・標準的な内容の文章を正確に理解する力を問う問題を中心に、問われたことがらについて適切に表現する力を問う問題をあわせて出题する。	40分	45点	50分	90点
C (発展的問題)	標準的・発展的な内容の文章を正確に理解する力を問う問題とともに、問われたことがらについて適切に表現する力を問う問題を中心に出题する。	/		50分	90点

〔数 学〕

種類	特 徴	特別選抜		一般選抜	
		検査時間	配 点	検査時間	配 点
A (基礎的問題)	基礎的な計算問題を出题するとともに、「数と式」、「図形」、「関数」、「資料の活用（データの活用）」の基礎的な事項についての理解を問う問題を中心に出题する。	40分	45点	50分	90点
B (標準的問題)	「数と式」、「図形」、「関数」、「資料の活用（データの活用）」の基礎的・標準的な事項についての理解を問う問題を中心に出题する。	40分	45点	50分	90点
C (発展的問題)	「数と式」、「図形」、「関数」、「資料の活用（データの活用）」の標準的・発展的な事項について、数学的に処理し判断する力を問う問題を中心に出题する。	/		60分	90点

〔英 語〕

種類	特 徴	特別選抜		一般選抜	
		検査時間	配 点	検査時間	配 点
A (基礎的問題)	〔筆答〕 基礎的な語彙・文法の理解を問う問題とともに、基礎的な内容の英文を読み取る力を問う問題を中心に出題する。 〔リスニング〕 自然な口調で話された英語からその具体的な内容や必要な情報を聞き取る力を問う問題を中心に出題する。	55 分 〔筆答 40分 リスニング 15分〕	45点	55 分 〔筆答 40分 リスニング 15分〕	90点
B (標準的問題)	〔筆答〕 基礎的な語彙・文法についての理解を問うたうえで、基礎的・標準的な内容の英文を読み取る力を問う問題を中心に出題する。 〔リスニング〕 自然な口調で話された英語からその具体的な内容や必要な情報を聞き取る力を問う問題を中心に出題する。	55 分 〔筆答 40分 リスニング 15分〕	45点	55 分 〔筆答 40分 リスニング 15分〕	90点
C (発展的問題)	〔筆答〕 標準的・発展的な内容の英文の中から、話題や論理の流れに沿って必要な情報を素早く読み取る力を問う問題とともに、一定量以上のまとまりのある内容を英文で適切に表現する力を問う問題を中心に出題する。 ※問題文は、指示文を含め、すべて英語で構成する。 〔リスニング〕 自然な口調で話された英語からその具体的な内容や必要な情報を聞き取る力を問う問題とともに、「読む・聞く・書く」技能を統合的に活用する力を問う問題を出題する。	/		55 分 〔筆答 30分 リスニング 25分〕	90点

* 英語の学力検査は、令和3年4月26日に通知した「大阪版 中学校で学ぶ英単語集（令和4年6月改訂）」から出題します。

* A、B問題のリスニングテストでは、同一問題を使用し、配点は約20%（5分の1）とします。

* C問題のリスニングテストでは、A、B問題と異なる問題を使用し、配点は約33%（3分の1）とします。

2 社会、理科については、特別選抜及び一般選抜において、1種類ずつを府教育委員会が作成する。検査時間、配点については次のとおりとする。

教 科	特別選抜		一般選抜	
	検査時間	配 点	検査時間	配 点
社 会	40分	45点	40分	90点
理 科	40分	45点	40分	90点

3 実技検査の検査内容、検査種目、配点については、以下のとおりとする。

学 科	検査内容	検査種目	配 点
工業に関する学科 (建築デザイン科、インテリアデザイン科、デザインシステム科、ビジュアルデザイン科、映像デザイン科及びプロダクトデザイン科)、総合造形科及び美術科	美術に関する基礎的な描写力及び総合的な表現力	基礎的描写	75点
		総合的表現	75点
音楽科	音楽に関する基礎的な視唱力・聴取力及び希望する専攻実技における表現力	視唱	30点
		専攻実技	100点
		聴音	20点
体育に関する学科	運動に関する基礎的な能力及び希望する検査種目における技能	運動能力	45点
		運動技能	180点
グローバル探究科	英語に関する技能のうち、「読む」「聴く」「話す」の総合的な運用能力	英文の音読	20点
		英語による口頭試問	80点
演劇科	演技に関する基礎的な表現力	身体表現	75点
		歌唱表現	75点
芸能文化科	芸能文化に関する基礎的な表現力及び探究力	朗読	50点
		口頭試問	50点

大阪府公立高等学校入学者選抜の方法

資料 3 ①

○ 一般入学者選抜（全日制の課程（調査書を要しない選抜を除く。））

<Step 1>

学力検査

教科	国語	社会	数学	理科	英語	学力検査の成績 (①)
配点	90点	90点	90点	90点	90点	450点

調査書

9教科の評定は各50点（3学年の評定×6倍+2学年の評定×2倍+1学年の評定×2倍）とする。

（9教科：国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭、英語）

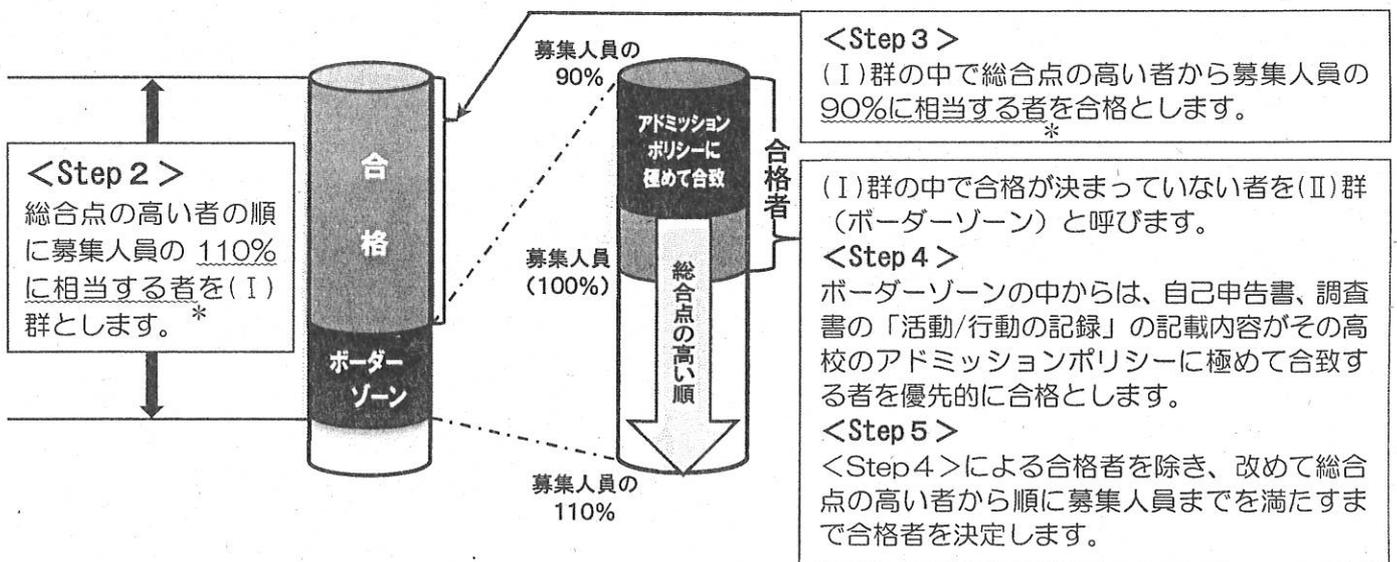
調査書の評定 (②)

450点

総合点

高等学校を設置する教育委員会が定める倍率の中からあらかじめ各高等学校長が選択し、高等学校を設置する教育委員会が決定したタイプにより、「学力検査の成績 (①)」と「調査書の評定 (②)」にそれぞれの倍率をかけて合計し、総合点を算出。

タイプ	学力検査の成績 (①) にかける倍率 (点数)	調査書の評定 (②) にかける倍率 (点数)	総合点	【参考】 学力検査の成績：調査書の評定
I	1.4倍 (630点)	0.6倍 (270点)	900点	7：3
II	1.2倍 (540点)	0.8倍 (360点)		6：4
III	1.0倍 (450点)	1.0倍 (450点)		5：5
IV	0.8倍 (360点)	1.2倍 (540点)		4：6
V	0.6倍 (270点)	1.4倍 (630点)		3：7



* 総合点の同点者がいるために、90%、110%に当たる者を確定できない場合は、その同点者も含めた人数までを募集人員の90%、110%に相当する者とする。

大阪府公立高等学校入学者選抜の方法

資料 3 ②

○ 特別入学者選抜

《実技検査を実施する場合》

<Step 1>

学力検査

教科	国語	社会	数学	理科	英語	学力検査の成績 (①)
配点	45点	45点	45点	45点	45点	225点

調査書

9教科の評定は各25点（3学年の評定×3倍+2学年の評定×1倍+1学年の評定×1倍）とする。

（9教科：国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭、英語）

調査書の評定 (②)

225点

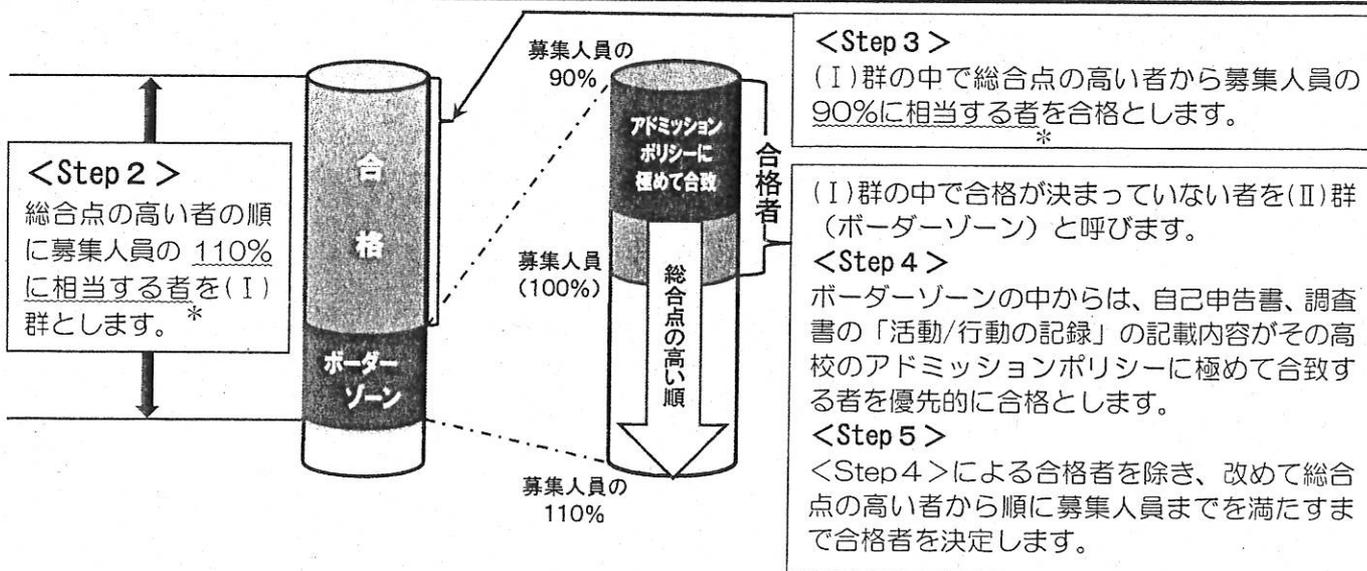
⇒ 高等学校を設置する教育委員会が定める倍率の中からあらかじめ各高等学校長が選択し、高等学校を設置する教育委員会が決定したタイプにより、「学力検査の成績 (①)」と「調査書の評定 (②)」にそれぞれ倍率をかけて合計する。 … ③

タイプ	学力検査の成績 (①) にかける倍率 (点数)	調査書の評定 (②) にかける倍率 (点数)	③ (①+②)	【参考】 学力検査の成績：調査書の評定
I	1.4倍 (315点)	0.6倍 (135点)	450点	7：3
II	1.2倍 (270点)	0.8倍 (180点)		6：4
III	1.0倍 (225点)	1.0倍 (225点)		5：5
IV	0.8倍 (180点)	1.2倍 (270点)		4：6
V	0.6倍 (135点)	1.4倍 (315点)		3：7

実技検査

学 科	配 点
工業に関する学科（建築デザイン科、インテリアデザイン科、デザインシステム科、ビジュアルデザイン科、映像デザイン科及びプロダクトデザイン科）、総合造形科、美術科、音楽科、演劇科	150点
体育に関する学科	225点
グローバル探究科、芸能文化科	100点

総合点 = ③ + 実技検査 の成績



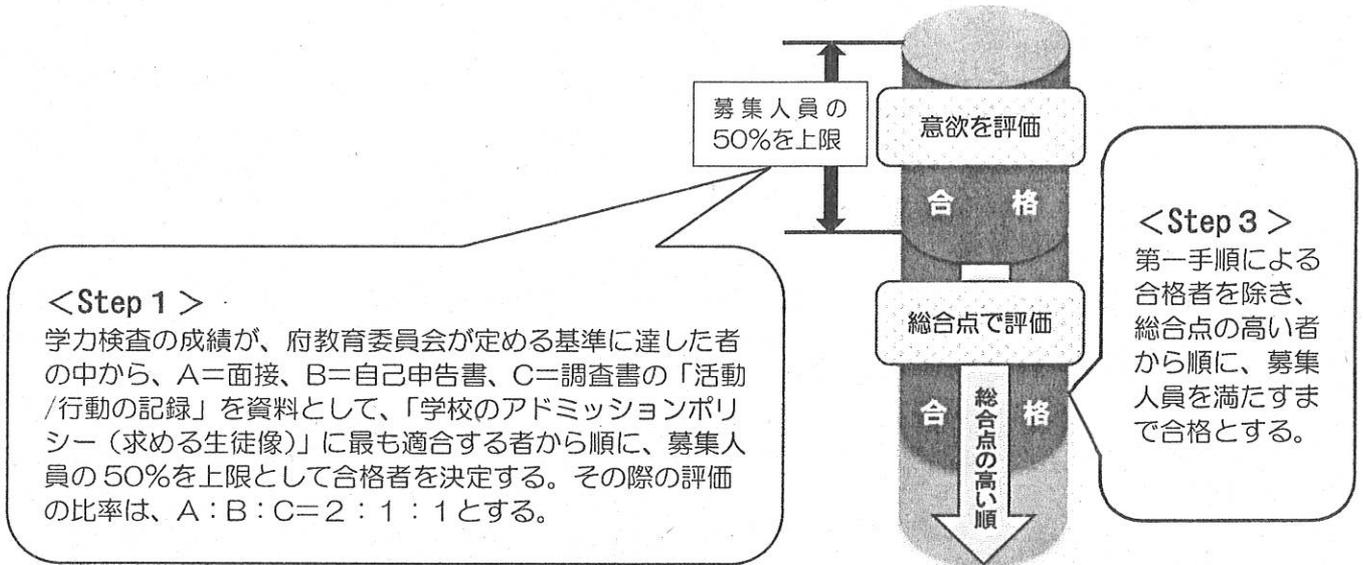
* 総合点の同点者がいるために、90%、110%に当たる者を確定できない場合は、その同点者も含めた人数までを募集人員の90%、110%に相当する者とする。

大阪府公立高等学校入学者選抜の方法

資料3 ③

○ 特別入学者選抜

《面接を実施する場合》



<Step 2>

学力検査

教科	国語	社会	数学	理科	英語	学力検査の成績 (①)
配点	45点	45点	45点	45点	45点	225点

調査書

9教科の評定は各25点（3学年の評定×3倍+2学年の評定×1倍+1学年の評定×1倍）とする。

（9教科：国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭、英語）

調査書の評定 (②)

225点

総合点

高等学校を設置する教育委員会が定める倍率の中からあらかじめ各高等学校長が選択し、高等学校を設置する教育委員会が決定したタイプにより、「学力検査の成績 (①)」と「調査書の評定 (②)」にそれぞれの倍率をかけて合計し、総合点を算出。

タイプ	学力検査の成績 (①) にかける倍率 (点数)	調査書の評定 (②) にかける倍率 (点数)	総合点	【参考】 学力検査の成績：調査書の評定
I	1.4倍 (315点)	0.6倍 (135点)	450点	7：3
II	1.2倍 (270点)	0.8倍 (180点)		6：4
III	1.0倍 (225点)	1.0倍 (225点)		5：5
IV	0.8倍 (180点)	1.2倍 (270点)		4：6
V	0.6倍 (135点)	1.4倍 (315点)		3：7

公立高等学校入学者選抜 志願者の基本操作手順

※詳細マニュアルは府ウェブページで確認してください。



【1. 初回ログイン】

在籍する中学校等から配付された「マイページ案内」からログイン

- ・個人情報の利用許諾
- ・メールアドレス登録 → メールに記載の認証コード入力
- ・パスワード変更
- ・志願者の名前・ふりがな・生年月日の入力 → 一時保存

【2. 顔写真登録】

顔写真登録 (写真確認)

現在登録されている顔写真

いずれかを選択して、
顔写真を登録

写真撮影 ファイルのアップロード

顔写真登録 (プレビュー)

登録 やりなおし

「登録」ボタンを押す

※顔写真が本人確認として適切であることを確認してください。
(詳細はマニュアル参照)

- (例)・顔が正面を向き(目元がわかること)、
はっきりと鮮明に写っていること
- ・背景は無地(白、薄い青、グレーなど)
 - ・画像を加工していないこと
 - ・白黒・カラーのどちらでも可

【3. 志願者情報登録】

① 志願者情報登録

志願者登録情報

卒業(見込み)年月

卒業区分

志願者名(姓/Surname)
姓
志願者名(名/Given name)
名(ふりがな)
名(ふりがな)
名(ふりがな)

※志願者名・ふりがなは
初回ログイン時に入力

名前特記事項の有無
名前にはシステムに入力できない漢字等が含まれる場合、
「名前特記事項」欄に漢字等を入力してください。
名前特記事項の
名前特記事項の内容(添付)
JPG、PDFのみ添付可

名前に入力できない漢字等がある場合のみ
チェックして入力または
添付

生年月日(西暦) ※生年月日は
2016/07/05 初回ログイン時に入力

志願者現住所 郵便番号
5460003 住所表示

郵便番号はハイフン無しで入力してください。

都道府県 大阪府
市区町村 大阪市東住吉区
番地 今川2-20-2
マンション名 リバーサイド今川303
電話番号 090-9999-9999

※志願者現住所は
必須

※定時制・通信制課程
の志願者及び成年
年齢に達した志願者
は、志願者の電話番号
必須

応募資格審査
応募資格審査を受けた
場合は「あり」を選択

入学までに転居予定
がある場合入力

②

保護者情報

保護者名 姓/Sur name
志願者
名/Given name
太郎
姓(ふりがな)
しがん ※志願者が未成年の場合、
名(ふりがな) 保護者名、ふりがな、
たろう 本人との関係(父、母等)、
本人との関係 現住所、
父 保護者の電話番号は必須

保護者現住所
 志願者と同じ
 保護者の現住所が志願者の現住所と同じ場合チェックボックスにチェックしてください。

郵便番号

郵便番号はハイフン無しで入力してください。

都道府県

市区町村

番地

マンション名

電話番号

電話番号はハイフン付きで入力してください。

保護者転居予定住所
 志願者と同じ
 保護者の転居予定
 と同じ場合チェックボックスにチェックしてください。

郵便番号

郵便番号はハイフン無しで入力してください。

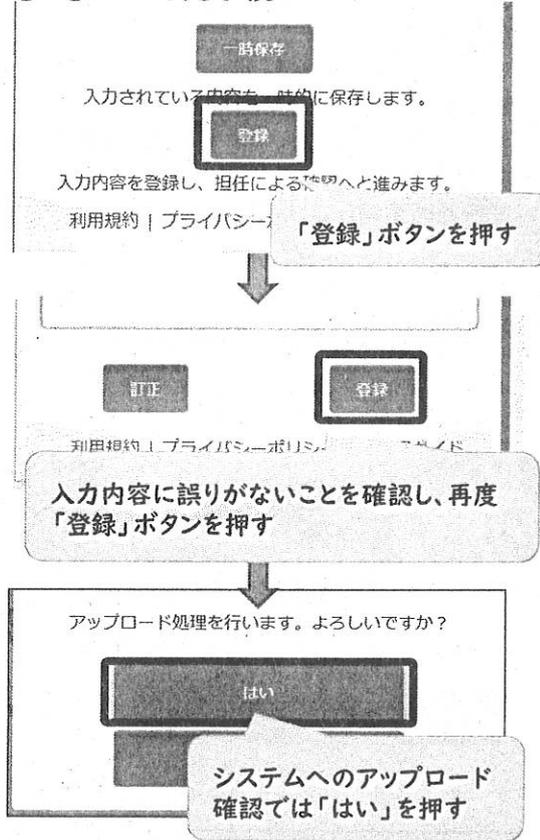
都道府県

市区町村

番地

マンション名

①・②の入力完了後



※「顔写真登録」が済んでいないと「登録」ボタンは押せません。

顔写真登録が済んでいない場合は「一時保存」を押し、顔写真登録を済ませてから、再度「登録」ボタンを押してください。

【4. 出願情報登録】

II 出願情報の登録等
出願を予定する選抜等を選択し、出願に必要な情報を登録します。入学検定料の納付や出願手続きもこちらから行います。合格者発表期間中はこちらから受験結果を確認できます。

公立高校特別選抜等（2月）
入力・出願可能期間

出願予定の選抜を選択する

ログインID:A5660147 ▲

出願情報登録 - 修正

出願情報変更可能

志願先

課程
全日制

学校検索
や行 ▼

学校
大阪府立夕陽丘高等学校 ▼

第1志望学科等
夕陽丘 音楽 ▼

第2志望学科等
▼

※志願先校名・第1志望学科は必須

第2志望学科は該当校のみ

志願先に提出する出願情報

自己申告書 他選抜からのコピー
▼

両面/裏面
JPG,PDFのみ添付可

※自己申告書は入力または添付

裏面
JPG,PDFのみ添付可

英語資格の活用
英検準1級・1級、TOEFL iBT 60点以上 ▼ 添付 なし

※詳細 英語資格の活用は希望者が選択し、証明書は中学校に提出

海外検定無記号級希望
JPG,PDFのみ添付可

**該当者のみ
該当者には別途指示あり**

答案開示希望
 希望する 希望しない **※必須選択**

申込番号
願がいに係る記号添付
JPG,PDFのみ添付可

申込番号
日本検定料に係る記号添付
JPG,PDFのみ添付可

在籍選抜（通年選抜）
JPG,PDFのみ添付可

応募資格選抜
JPG,PDFのみ添付可

入学志願特別事情申告書
JPG,PDFのみ添付可

**該当者のみ
該当者には別途指示あり**

「一時保存」を押す

一時保存

入力されている内容を一時的に保存します。

仮登録

入力内容を登録し、志願先

志願先を後で変更する場合、「仮登録」を押す

※入学検定料の納付は可能

【5. 入学検定料納付】

入学検定料の納付
入学検定料 2,200円

入金種類
入金状況

注) 納付方法でコンビニ決済やペイジー決済を選択した場合、入金後、入金状況に情報が反映されるまでに時間がかかることがあります。

入学検定料納付

入学検定料を納付する

入力内容で出願します。

※クレジットカード、コンビニ決済、ペイジー決済のいずれかにより納付してください。

【6. 出願】

入学検定料の納付
入学検定料 2,200円
入金種類 2,200円
入金状況 納付済み

注) 納付方法でコンビニ後、入金状況に情報が更新します。

入金状況が「納付済み」であることを確認する

※入金後、システムにデータが反映されるまで、時間がかかることがあります

入学検定料納付

出願

入力内容で出願し

「出願」ボタンを押す

※出願後の志願先変更は不可

出願

入力内容に誤りがないことを確認し、再度「出願」ボタンを押す

アップロード処理を行います。よろしいですか?

はい

いいえ

「はい」を押す

※「出願」ボタンが押せない場合は、次の内容を確認してください。

- ・【3. 志願者情報登録】が「一時保存」ではなく「登録」になっているか
- ・入学検定料が納付されているか

これで志願者による出願手続きは完了です。

在籍する中学校等に、承認作業を依頼してください。中学校等による承認後、出願データが志願先に提出されます。

【参考】

- ・特別選抜等(2月)の合格者発表前でも一般選抜等(3月)の出願手続きが可能です。

【7. 出願承認完了】

ログインID:A6800031 ▲

出願状況

出願完了(特別選抜(音楽科))

出願期間前は「在籍校校長承認済」であれば出願手続きが完了しています。出願期間中に「出願完了」となれば、志願先で出願が受理されています。

出願完了後に出願データの修正はできません。

【8. 受験票のダウンロード】

出願情報確認・修正

ログインID:A1030017 ▲

出願情報確認・修正

出願情報変更可 **受験票のダウンロード**

志願先

学校検索

学校検索

学校検索

受験票のダウンロードボタンが青色になれば押す

※出願状況が「出願完了」になっても、志願先から受験票が発行されるまで、時間がかかることがあります

受験票のダウンロード

ログインID:A1030017 ▲

受験票をダウンロードしてA4サイズの用紙に印刷し、検査当日に持参してください。

ダウンロード

PDF ファイルをダウンロードして保存し、プリンター印刷またはコンビニ印刷でA4 サイズに白黒印刷またはカラー印刷

印刷した受験票を検査当日に持参してください。